《情報取得（勤務先・人身損害）》

　請　　求　　債　　権　　目　　録

○○地方裁判所令和○○年(ワ)第○○○○○号事件の執行力のある判決正本に表示された，人の生命又は身体の侵害による損害賠償請求権[[1]](#footnote-2)である下記債権

記

１　元　本 金２００万円

２ 損害金

　　ただし，上記１に対する令和２年７月２日から支払済みまで年３％の割合による損害金

《取立等がある場合[[2]](#footnote-3)》

請　　求　　債　　権　　目　　録

○○地方裁判所令和○○年(ワ)第○○○○○号事件の執行力のある判決正本に表示された，人の生命又は身体の侵害による損害賠償請求権[[3]](#footnote-4)である下記債権

記

下記１及び２の合計から，下記取立金等（ただし，下記各事件の執行費用分を除く。）を控除した残金

１　元金　　　金１，０００，０００円[[4]](#footnote-5)

　　ただし，主文第１項に記載された金員

　２　損害金

　　　上記１に対する令和２年５月１日から支払済みまで，年３％の割合による損害金[[5]](#footnote-6)

**［以下，該当するものを記載する。]**

**《取立てがあった場合》**

申立人は，○○地方裁判所令和○年（ル）第○○号事件，同庁令和●年（ル）第●●号事件にて，債務者につき合計○○円[[6]](#footnote-7)を取り立てた。

**《配当等があった場合》**

申立人は，○○地方裁判所令和□年（ル）第□□号事件，同庁令和■年（ル）第■■号事件にて，債務者につき合計□□円[[7]](#footnote-8)の配当等を受けた。

**《債務者から任意弁済があった場合》**

　申立人は，債務者から合計△△円の弁済を受けた。

1. 人の生命又は身体の侵害による損害賠償請求権であることを明示します。 [↑](#footnote-ref-2)
2. この書式は，債務名義上の債権額が，調査した債務者の財産（資産額）よりも多額であることが明らかな場合を想定したものです。事案によっては，詳細な残額計算表が必要になります。 [↑](#footnote-ref-3)
3. 人の生命又は身体の侵害による損害賠償請求権であることを明示します。 [↑](#footnote-ref-4)
4. 判決正本等債務名義の記載をそのまま転記します。 [↑](#footnote-ref-5)
5. 同上 [↑](#footnote-ref-6)
6. 奥書に記載された金額を記載します。 [↑](#footnote-ref-7)
7. 同上 [↑](#footnote-ref-8)